

音楽の時間の課題

- 1 表現や鑑賞のポイントを子どもと共に確認したり板書したりしていないために、歌いっ放し、聴きっ放しになっている授業が見られます。
- 2 音色やリズム、旋律などの音楽を特徴付けている要素（〔共通事項〕）について感じたり気付いたりしたことが、表現や鑑賞の活動に生かされていない授業が見られます。

授業改善のための取組として（案）

□ 音色、リズム、速度など、子どもが音楽の何をポイントとして表現や鑑賞の活動をするのかを明確にしましょう。

- 題材の目標を踏まえ、音色、リズムなど音楽を特徴付けている要素（〔共通事項〕）を焦点化する。
- 子どもに着目させるべき音楽を特徴付けている要素（〔共通事項〕）を見出す方法として
 - ① 子どもの立場で、曲を演奏したり聴いたりして教材研究をする。
 - ② 歌詞などを丁寧に読み取り、分析する。
 - ③ 教科書に示された表現や鑑賞の活動のポイントを参照する。などが考えられる。

例) 第4学年 「曲想を感じ取って演奏しよう」(歌唱教材「とんび」)

- 題材の目標 旋律、問いと答えなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想にふさわしい歌唱表現を工夫する。(音楽表現の創意工夫)
- 〔共通事項〕 旋律、問いと答え

* 〔共通事項〕について

〔共通事項〕は、音色、リズム、速度など、音楽を特徴付けている要素や、反復、問いと答えなどの音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさなどを感じ取ること、「音符、休符、記号や音楽に関わる用語」を音楽活動を通して理解することを示しています。

□ 音楽を特徴付けている要素（旋律）などに着目させた言語活動を工夫しましょう。

- 音楽を特徴付けている要素である「旋律」などに着目させ、感じたことや気付いたことを話したり書いたりする活動を通して、思いや意図をもって表現したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりすることができるようにする。
- 言葉だけではなく、音や動作による表現など、活動を工夫する。

【コラム】国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導しましょう。

国歌「君が代」は、日本国憲法の下において、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の末永い繁栄と平和を祈念した歌であることを理解できるようにする必要があります。

各学校では、国歌「君が代」を入学式や卒業式等必要なときには、児童がいつでも歌えるよう表現学習の目標や内容と関連させ、児童の発達の段階に即していずれの学年においても適切な指導を行う必要があります。